

探索的テストのお題

あるアプリケーションの探索的テストを行う

Step 1: 探索的テストの Pass/Fail 基準を書く

定義	PASS 基準	Fail 基準
機能性	各々の主機能がテストされ、ユーザが望む操作ができ、かつそのアウトプットが正しいものである。	1つ以上の主機能の実装の不備があり、ユーザがその目的を達成できない。
	不正な操作をしたとしても、その後の捜査に支障をきたさずソフトウェアが正常に動作する。	不正なオペレーションをした後、ソフトウェアが正常に動作しない。
安定性	対象ソフトウェアは Windows OS を不安定にさせない。	Windows OS が機能不全に陥ることがある。
	対象ソフトウェアはハングアップやクラッシュやデータの損失をしない。	ハングアップやクラッシュやデータ損失が起こる。
	主機能が操作不可能や、オペレーションの阻害が起こらない。	操作不可能や、オペレーションの阻害が起こる。

Step 2: 以下のようにある大機能のタスクシートを書く。

タスクの記述(Task Description)	なにをやろうとしているのかを記述
探索アプローチガイド(Heuristics)	このガイドラインなり、アイデアが探索的テストをどのように進めていくかを記述する。やるべきタスクを羅列するのではなく、どういう考え方でテストするかを記述する。例えば動詞を全部羅列するとかもアイデアです。
結果(Results)	どういう品質のものがリリース可能か。
You can say you're done when	どのように終わらせる。
FAQ	

Step 3: 実際に探索的テストを行いバグを見つける（可能ならば）

Step 4: 各グループごとに発表！

探索的テストを行う上での注意ポイント

- 今までの考え方の脳みそをかち割る
- 機能をテストするのではなく、ユーザにとって何が重要で又バグによってどういう不利益があるかを考える。もちろんメニューをツリー構造に分解して、それに対してテストケースを書くことはしない。
- 網羅的に行うことをあきらめる